

1・2・3学年家庭科学習案内 評価の観点

◎中学校の家庭科では次のことを目標としています。

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てます。

◎学習内容と学習予定学年

A 家族・家庭生活	B 衣食住の生活	C 消費生活・環境
1年（1・3）・3年（2）	1年（1～3）・2年（4～7）	3年
(1)自分の成長と家族家庭生活 (2)幼児の生活と家族 (3)家族・家庭や地域との関り	(1)衣服の選択と手入れ (2)生活を豊かにするための布を用いた生活 (3)住居の機能と安全な住まい方 (4)食事の役割と中学生の栄養の特徴 (5)中学生に必要な栄養を満たす食事 (6)日常食の調理と地域の食文化 (7)衣食住の課題と実践	(1)金銭の管理と購入 (2)消費者の権利と責任 (3)消費生活・環境についての課題と実践

◎各単元のねらい

A 家族・家庭生活	B 衣食住の生活	C 消費生活・環境
家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い、家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度の育成をする。	健康・快適・安全で豊かな食生活、衣生活、住生活に向け考え、工夫する活動を通して、食生活・衣生活・住生活に関する知識・及び技能を身に付け、これからの生活の課題解決する力を養い、衣食住の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。	持続可能な社会の構築に向け、工夫する活動を通し、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

◎評価の観点と方法

観点別評価の項目	+	評価の方法
知識・技能	生活に関する知識・学習した内容の知識が身についたかを評価します。生活に関する技能（調理・裁縫など）身につけているかを評価します。	<u>作品・実習・提出物・定期テスト</u> ○丁寧に作業し、作品を最後まで仕上げ、課題や時間の目安を考えて作業を進めているか。 ○実技テスト ○提出期限内に提出ができる。
思考・判断・表現	生活をよりよくしようとするものの見方や考え、課題を見つけ解決しようとする思考の過程やアイデアを評価します。	<u>授業態度・作品・提出物・ノート</u> ○自分の考えを、みんなの前で積極的に発表している。 ○自分のアイデアを、毎時間生かし、作品製作を通して形にして表現している。 ○授業で使うワークシートに自分の考えを書けている。
主体的に取り組む態度	家庭科の授業・実習に興味を持ち、積極的に取り組んでいる様子を評価します。	<u>授業態度・ノート・振り返り</u> ○授業での発言、発表態度、話し合い活動の様子を評価します。 ○授業で配布しているワークシートがノートに貼られ、必要事項が記入されている。工夫したまとめ方をしている。 ○宿題・課題を期日内に丁寧に取り組んでいる。 ○自分の生活を振り返り、授業の内容をどのように生活に活かすことができるのかを考え、書くことが出来ている。

◎授業の受け方

- 授業道具（教科書・ノート・ワーク・ipad）、筆記用具を準備してください。
（授業でのりやはさみ、色鉛筆を使う時もあります。授業道具に忘れ物が無いようにしましょう。）
- 実習は安全に行うことが重要です。けがの無いように気をつけましょう。
- 話し合い活動では自分の意見を積極的に発表しましょう。また。クラスメイトの発表は自分にはない考えを聞くことができるチャンスです。良い意見は色ペンでノートにメモをしましょう。
- 自分の家庭生活がよりよいものになるように、授業の内容を家庭生活で実践できることをイメージしながら授業に臨みましょう。
- 授業の終わりに振り返りを書きます。評価に入れます。学習した内容をしっかりまとめ、実生活に生かす工夫など記入しましょう。